第４１回全国高校生建築製図コンクール実施要項

主催：東日本建築教育研究会

１　課題

別紙のとおり

２　応募方法

(1) 応募できる作品数

課題ごとに各学校で審査した作品の中から、優秀作品を全・定課程別で３点以内とする。

(2) 作品図面の提出方法

課題ごとに指定された用紙に作図し、下記送付先に受付の締切日を厳守して送付する。

(3) 送付上の注意

① 図面ケースは、図を破損しないように、Ａ２判を２つ折りにしたＡ３判のケースを使用して送付する。※枚数が多い場合は、Ａ３判の箱を自作しても可とする。

② 作品送り状は、 本研究会のホームページに掲載されているＵＲＬにアクセスし、課題毎の送り状入力フォームに入力をする。（１０月３日（月）より入力が可能）

③ 返送用伝票（「ゆうパック」の着払いまたは料金を支払った伝票）は、必要事項を記入し、 同封する。※返送用伝票の指定返却事務処理上「ゆうパック」を希望する。

(4) 作品送付先

〒４００－００２６　山梨県甲府市塩部２－７－１　　TEL ０５５－２５２－４８９６

山梨県立甲府工業高等学校内　東日本建築教育研究会　製図コンクール係　　宛

※応募作品の発送（郵送）については、別紙のとおり

(5) 作品受付締切

令和４年１０月２４日（月）～１０月２８日（金）消印有効

尚、甲府工業高等学校に直接持参する場合は、１０月２８日（金）１６時まで受け付ける。

(6) 参加登録料

会員校（本研究会）以外の参加校は、３３６円分（８４円切手４枚）の切手を同封する。 なお、領収書は後日審査結果の返送時に同封する。

(7) 返送方法

返送用伝票（着払いまたは料金を支払った伝票）を使用して、応募作品・賞状等を送付する。

※発送は、郵便局による集荷で対応する予定です。

３　審査方法

製図コンクール運営委員会において審査し、以下の賞状を授与する。

金　賞：課題ごとに各１点

銀　賞：課題ごとに各３点程度

銅　賞：課題ごとに各６点程度

入　賞：課題ごとに各１０点程度

奨励賞：金・銀・銅賞・入賞の作品を除くすべての応募作品に与える。

※金・銀・銅・入賞は、応募数により増減を考慮する。

４　その他

(1) 応募作品の著作権や工業所有権等は応募者の所有とする。ただし、作品の公開（展示・出版） については、本研究会が自由に行うことが出来るものとする。

(2) 作品送り状入力フォームにて、本研究会ホームページ等への記載を希望するか否かを必ず記入する。（金賞を受賞した生徒の作品掲載の希望するか否かは別途確認をする）

(3) 賞状は、令和４年１２月末までに発送予定である。

(4) 作品等の問い合わせは、すべて以下の製図コンクール運営委員長にしてください。事務局校に連絡することは、ご遠慮ください。

山梨県立甲府工業高等学校　全日制建築科　森嶋 真一　　TEL ０５５－２５２－４８９６

(5) 作品送付先違い、期限が守れない作品は失格となります。また、着払いで送付された作品は、受け取りができませんのでご注意ください。

(6) 作品審査は例年同様に行うことを前提しています。場合により審査ができないことも想定されます。その際、全員に「特別賞」を与えることもあり得ることも承知願います。

第４１回　全国高校生建築製図コンクール　課題１　要項

主催：東日本建築教育研究会

【受付・締切】２０２２年１０月２４日（月）～１０月２８日（金）消印有効

応募学年	用　紙	課　題　名　・　要　求　図　面
全日制 １学年 ２学年 定時制 １学年 ２学年	ケント紙 Ａ３ (297×420) 横使い	１　課題名　軒先マワリ詳細図 ２　要求図面（尺度１：５） (1) 軒先マワリ詳細図

１　応募学年

全日制の２学年で応募できるのは，専門的な建築の学習を２学年から開始する総合学科や，２学年からコース別選択をする学科等に在籍する生徒のみである。

２　作図上の注意

(1) 「建築設計製図」（実教出版社刊　【７実教　工業７０５】若しくは【７実教　工業３０５】）の製図例１－１(製図例２－６の軒先まわりの詳細図)を模写する。
ただし，引出線の角度はすべて揃え，線の納まりも揃えること。

(2) 線の種類や太さなどの使い分けを正確にし，それぞれの線を明瞭に力強く描く。

(3) 文字の形状や大きさなどが不揃いにならないようにする。

(4) 図形の正確さに留意する。
ア　部材の寸法は，製図例１－１，製図例２－４，製図例２－６を参照する。
イ　小屋梁の径に注意する。

(5) 天井高さの位置は，製図例２－６を参照する。

(6) 表題欄は，用紙の右下すみに記入する。

(7) 寸法・表示記号は，ＪＩＳ　Ａ　０１５０建築製図通則，「建築設計製図」（実教出版社刊【７実教　工業７０５】若しくは【７実教　工業３０５】本文製図例)を参照する。

(8) 同出版社より販売されている「指導資料　建築デジタルデータ集」と教科書の製図例と異なる部分がある場合は，教科書を優先とする。（指導される先生はご注意ください）

３　失格事項

(1) 指定された用紙以外の作品。

(2) 文字や数字等に型板を使用した作品。

(3) ワープロ等の文字や数字等を下に敷いて写した作品。

(4) インキングで仕上げた作品。

(5) ＣＡＤデータ等の図面を下に敷いて写したと思われる作品。

(6) 「建築設計製図」（実教出版社刊　【７実教　工業７０５】若しくは【７実教　工業３０５】）以外の旧課程版教科書の製図例作品。

４　表題欄

(1) 学校名は都道府県から正確に書いてください。

(2) 学科，学年，氏名は略字や省略をせずに正確に書いてください。

課題 1	木造平家建専用住宅			学校名				10
図　名	軒先マワリ詳細図	尺　度		学科学年		氏　名		10
20	60	20	30	20	50	20	40	

第４１回　全国高校生建築製図コンクール　課題２　要項

主催：東日本建築教育研究会

【受付・締切】２０２２年１０月２４日（月）～１０月２８日（金）消印有効

応募学年	用　紙	課　題　名　・　要　求　図　面
全日制 １学年 ２学年 定時制 １学年 ２学年 ３学年	ケント紙 Ａ２ (420×594) 横使い	１　課題名　木造平家建専用住宅 ２　要求図面（尺度１：１００） (1) 配置図兼平面図 (2) 立面図（２面　南面および東面） (3) A-A断面図（１面）

１　作図上の注意

(1) 各図面の描き方は,「建築設計製図」（実教出版社刊　【７実教　工業７０５】若しくは【７実教　工業３０５】）の第３章に準ずる。

(2) 各図における注意事項

① 配置図は，各自の計画とする。

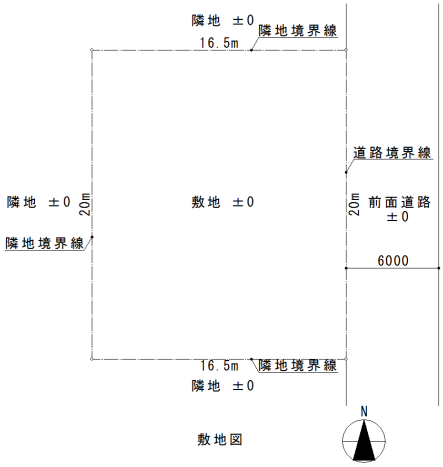
ア 敷地の形状，道路との関係，方位等は，配置図兼平面図右図のとおりとする。

※製図例３－１の角地ではないので，要注意！

イ 敷地は平坦で，地盤面と道路面および隣地との高低差はない。

ウ 造園計画，ポーチ，スロープ，ウットデッキの計画は自由とする。

エ 植栽，屋外駐車スペース等を記入する。



敷地図

② 平面図は,製図例３－１の模写とする。

ア Ａ－Ａ断面図の切断位置を記入する。

イ 室の床仕上げ表現はしない（畳の線は記入する）。

③ 立面図は，製図例３－２の模写とするが，仕上げ材料のみ各自の計画とする。

ア 南面および東面の合計２面とする。

イ 壁，屋根の仕上げ材料は，各自の計画とし、**図面に仕上げを記入**する。

ウ トップライト，太陽電池モジュール等，製図例３－２に記載しているものは，模写する。

④ Ａ－Ａ断面図は，製図例３－２の模写とする。

ア 基準地盤面，一般軒高，最高高さ，屋根勾配，軒・けらば等の出，床高，各室の天井高，床の高低差，窓高，開口部の内法高さ，室名を記入する。

(3) その他

① 図面の配列順序は自由であるが，配図に留意する。

② 図面の種類および尺度は規定に従う。なお，要求図面以外は不要である。

③ 線の種類や太さなどの使い分けを正確にし，それぞれの線を明瞭に力強く描く。また，文字の形状や大きさ，図形の正確さにも留意する。

④ 表題欄は，右下すみに記入する。

⑤ 寸法・表示記号は，ＪＩＳ　Ａ　０１５０建築製図通則，「建築設計製図」（実教出版社刊【７実教　工業７０５】若しくは【７実教　工業３０５】本文製図例)を参照する。

2　失格事項

(1) 指定された用紙以外の作品。
(2) 文字や数字等に型板を使用した作品。
(3) ワープロ等の文字や数字等を下に敷いて写した作品。
(4) 着色・インキングで仕上げた作品。
(5) 床仕上げを表現した作品。
(6) ＣＡＤデータ等の図面を下に敷いて写したと思われる作品。

3　表題欄

(1) 学校名は都道府県から正確に書いてください。
(2) 学科，学年，氏名は略字や省略をせずに正確に書いてください。

課題 2	木造平家建専用住宅			学校名				10
図　名	配置図兼平面図・立面図 A-A断面図	尺　度		学科学年		氏　名		10
20	60	20	30	20	50	20	40	

第４１回　全国高校生建築製図コンクール　課題３　要項

主催：東日本建築教育研究会

【受付・締切】２０２２年１０月２４日（月）～１０月２８日（金）消印有効

応募学年	用　紙	課　題　名　・　要　求　図　面
全日制 ２学年 ３学年 定時制 ３学年 ４学年	ケント紙 Ａ２ (420×594) 横使い	１　課題名　木造２階建専用住宅 ２　要求図面（尺度１：１００） (1) 配置図兼１階平面図 (2) ２階平面図 (3) 立面図（２面　南面および東面または西面） (4) 断面図（１面） (5) 屋根伏図（尺度1:１００～1:２００） (6) 面積表（建築面積・各階床面積・延べ面積のみ） (7) 設計主旨

１　設計条件

地方都市の住宅地に建つ専用住宅を計画する。

計画に当たっては，次の（1）～（4）に留意し，高齢者に配慮した計画とする。

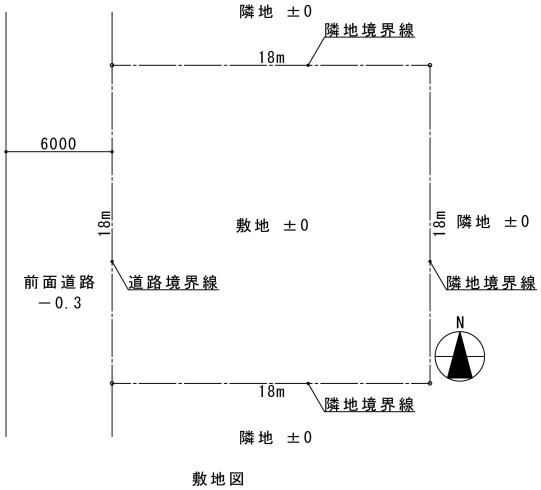
(1) 敷地

ア　形状，道路との関係，方位等は敷地図のとおりである。

イ　第一種低層住居地域にあり，防火・準防火地域の指定はない。

ウ　建ぺい率の限度は５０％，容積率の限度は１００％である。

エ　電気・水道・ガス・上下水道は完備されている。



敷地図

(2) 構造・階数

木造２階建とする。

(3) 延べ面積

ア　１６０m²未満とする。

イ　ピロティ，玄関ポーチ，屋外駐車スペース等は，床面積に算入しない。

(4) 家族構成

老人夫婦，夫（会社員），妻，子供２人（男子高校生・女子中学生）

２　作図上の注意

(1) 配置図兼１階平面図

ア　構造に無理がない形状とする。

イ　敷地と道路との高低差（０．３m）に留意する。

ウ　敷地境界線と建築物との距離，建築物の寸法を記入する。

エ　植栽，屋外駐車スペース等を記入する。

オ　平面図の壁は塗りつぶさず，柱等を記入する。

カ　断面図の切断位置を記入する。

キ　台所設備機器(流し台，調理台，ｶﾞｽ台，冷蔵庫等)，浴槽，洗面器，便器，洗濯機を記入する。

ク　家具は記入する。

ケ　通し柱を○で記入する。

コ　階段には必ず手すりを記入する。

サ　室名をその室内に記入する。

シ　室の床仕上げ表現はしない（畳の線は記入する）。

(2) ２階平面図
ア　平家部分がある場合には，１階屋根伏図も記入する。
イ　２の(1)のオからシを適用する。

(3) 立面図
ア　南面および東面または西面の合計２面とする。
イ　屋根の形状に留意する。

(4) 断面図
ア　切断位置は，１階・２階それぞれの開口部を含む部分とする。
イ　基準地盤面，一般軒高，最高高さ，屋根勾配，軒・けらば等の出，床高，各室の天井高，床の高低差，窓高，開口部の内法高さ，室名を記入する。

(5) 屋根伏図
ア　描き方は，製図例２－４を参照する。
イ　屋根仕上げ材料の名称と水勾配を記入する。
ウ　断面図の切断位置を記入する。

(6) 面積表
ア　建築面積，各階床面積および延べ面積を記入する。
イ　数値は，小数点以下第２位までとし，第３位以下は切り捨てる。

(7) 設計主旨
ア　設計条件について留意した点を，２００文字程度で記入する。
イ　図面余白に記入する。

(8) その他
ア　図面の配列順序は自由であるが，配図に留意する。
イ　図面の種類および尺度は規定に従う。なお，要求図面以外は不要である。
ウ　線の種類や太さなどの使い分けを正確にし，それぞれの線を明瞭に力強く描く。また，文字の形状や大きさ，図形の正確さにも留意する。
エ　表題欄は，右下すみに記入する。
オ　寸法・表示記号は，ＪＩＳ　Ａ　０１５０ 建築製図通則，「建築設計製図」(実教出版社刊【７実教　工業３０５】本文製図例)を参照する。

3　失格事項
(1) 指定された用紙以外の作品。
(2) 文字や数字等に型板を使用した作品。
(3) ワープロ等の文字や数字等を下に敷いて写した作品。
(4) 着色・インキングで仕上げた作品。
(5) 床仕上げを表現した作品。
(6) ＣＡＤデータ等の図面を下に敷いて写したと思われる作品。

4　表題欄
(1) 学校名は都道府県から正確に書いてください。
(2) 学科，学年，氏名は略字や省略をせずに正確に書いてください。

課題 3	木造2階建専用住宅			学校名				10
図　名	配置図兼1階平面図・2階平面図 立面図・断面図・屋根伏図	尺　度		学科学年		氏　名		10
20	60	20	30	20	50	20	40	

第４１回　全国高校生建築製図コンクール　課題４　要項

主催：東日本建築教育研究会

【受付・締切】２０２２年１０月２４日（月）～１０月２８日（金）消印有効

応募学年	用　紙	課　題　名　・　要　求　図　面
全日制	普通紙	１　課題名　木造平家建専用住宅（ＣＡＤ製図）
１学年	Ａ２	
２学年	(420×594)	２　要求図面（尺度１：１００）
３学年	横使い	(1) 配置図兼平面図
定時制		(2) 立面図（２面　南面および東面）
１学年	**サイズ厳守**	(3) 断面図（１面）
２学年		(4) 屋根伏図　※屋根伏図のみ尺度１：１００～１：２００
３学年		

1　作図上の注意

(1) 各図面の描き方は，「建築設計製図」（実教出版社刊　【７実教　工業７０５】若しくは【７実教　工業３０５】）の第３章に準ずる。

(2) 各図における注意事項

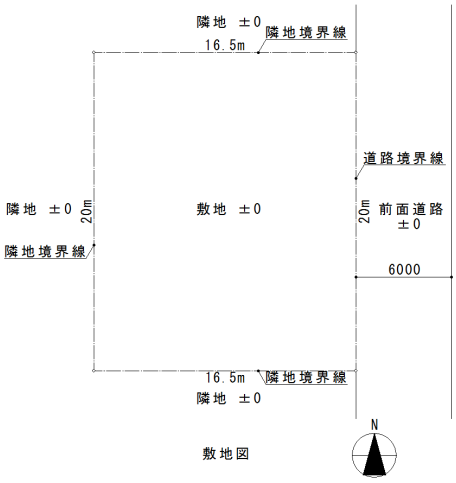
①　配置図は各自の計画とする。

ア　敷地の形状，道路との関係，方位等は，配置図兼平面図右図のとおりとする。
※製図例３－１の角地ではないので，要注意！

イ　敷地は平坦で，地盤面と道路面および隣地との高低差はない。

ウ　造園計画，ポーチ，スロープ，ウットデッキの計画は自由とする。

エ　植栽，屋外駐車スペース等を記入する。



②　平面図は，建築設計製図 製図例３－１の模写とする。

ア　ロフト等を設ける場合は，平面図に位置が分かるように表現し，ロフトの高さは法令を遵守すること。

イ　断面図の切断位置を記入する。

ウ　室の床仕上げ表現はしない（畳の線は記入する）。

③　立面図は，各自の計画とする。

ア　南面および東面の合計２面とする。

イ　屋根の形状に留意する。

ウ　屋上庭園および陸屋根は計画しないこと。

④　断面図は，各自の計画とする。

ア　切断位置は，開口部を含む部分とする。

イ　基準地盤面，一般軒高，最高高さ，屋根勾配，軒・けらば等の出，床高，各室の天井高，床の高低差，窓高，開口部の内法高さ，室名を記入する。

ウ　屋上庭園および陸屋根は計画しないこと。

⑤　屋根伏図は，各自の計画とする。

ア　描き方は，製図例２－４を参照する。

イ　屋根仕上げ材料の名称と水勾配を記入する。

ウ　断面図の切断位置を記入する。

エ　屋上庭園および陸屋根は計画しないこと。

(3) その他

① 図面の配列順序は自由であるが，配図に留意する。

② 図面の種類および尺度は規定に従う。なお，要求図面以外は不要である。

③ 線の種類や太さなどの使い分けを正確にし，文字の大きさ，図形の正確さにも留意する。特に，印刷時の線種の設定等に留意する。

④ 表題欄は，用紙の右下すみに作図する。

⑤ 作品を２部提出する（指定用紙はＡ２であるが， Ａ３を２枚貼り合わせても可とする。その場合は，Ａ２サイズより若干小さくなるが，きちんと貼り合わせること。Ａ２サイズより大きくなることは不可）。

⑥ 過去に作成したＣＡＤデータ等の流用は行わない。

⑦ ＪＩＳ Ａ ０１５０建築製図通則を参照する。

⑧ 図面印刷後は、必ず図面にスケールを当て縮尺確認すること。

⑨ 金賞（若しくは銀賞）を受賞した作品は後日、作品図面のＰＤＦデータの提供を依頼する。

2 失格事項

(1) 作品を２部提出していない場合。
※審査時に書き込みを入れるため，必ず必要となる。

(2) モノクロ印刷以外の作品。

(3) 平面図から自動的に立面図や断面図を描いた作品。

3 表題欄

(1) 学校名は都道府県から正確に書いてください。

(2) 学科，学年，氏名は略字や省略をせずに正確に書いてください。

課題 4	木造平家建専用住宅(CAD製図)			学校名				10
図　名	配置図兼平面図・立面図 断面図・屋根伏図	尺　度		学科学年		氏　名		10
20	60	20	30	20	50	20	40	

第４１回　全国高校生建築製図コンクール　課題５　要項

主催：東日本建築教育研究会

【受付・締切】２０２２年１０月２４日（月）～１０月２８日（金）消印有効

応募学年	用　紙	課　題　名　・　要　求　図　面
全日制 ２学年 ３学年 定時制 ３学年 ４学年	Ａ２ (420×594) 横使い ※色や紙質 は自由 **サイズ厳守**	１　課題名　木造２階建専用住宅（ＣＡＤプレゼンテーション作品） ２　要求図面（尺度：自由） (1) タイトル (2) 設計主旨（２００字程度） (3) 配置図兼１階平面図 (4) ２階平面図 (5) パースまたは模型写真 (6) 面積表（建築面積・各階床面積・延べ面積） (7) その他立面図・断面図等必要と思われるもの

１　設計条件

地方都市の住宅地に建つ専用住宅を計画する。計画に当たっては，次の（1）～（4）に留意する。

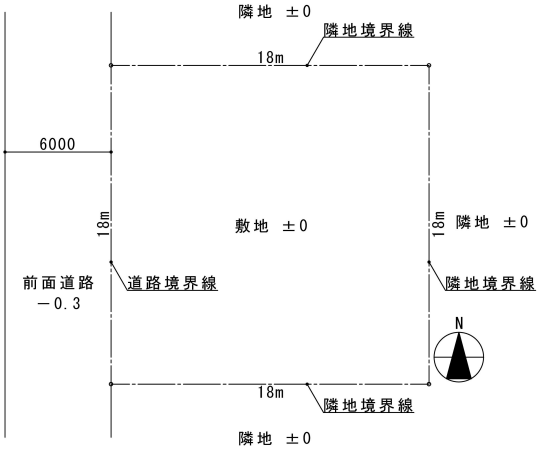
(1) 敷地

ア　形状，道路との関係，方位等は敷地図のとおりである。

イ　第一種低層住居地域にあり，防火・準防火地域の指定はない。

ウ　建ぺい率の限度は５０％，容積率の限度は１００％である。

エ　電気・水道・ガス・上下水道は完備されている。



敷地図

(2) 構造・階数

木造２階建とする。

(3) 延べ面積

ア　160 ㎡未満とする。

イ　ピロティ，玄関ポーチ，屋外駐車スペース等は，床面積に算入しない。

(4) 家族構成

各自で設定する。

(5) その他

① 学校名・学科・学年・氏名は，作品の裏面右下に貼付する（別紙表題欄を使用）。

② 図面の配列順序は自由であるが，配図に留意する。

③ 線，面ともにカラー出力でも可とする。ただし，着色した場合は同じ表記とすること。

④ 模型の写真をそのまま貼り付けることは可とする。

⑤ パースは内観でも外観でも可とする。

⑥ 作品を２部提出する（指定用紙はＡ２であるが，Ａ３を２枚貼り合わせても可とする。その場合は，Ａ２サイズより若干小さくなるが，きちんと貼り合わせること。Ａ２サイズより大きくなることは不可）。

⑦ 過去に作成したＣＡＤデータの流用は行わない。

⑧ ＪＩＳ　Ａ　０１５０建築製図通則を参照する。

⑨ 図面印刷後は、必ず図面にスケールを当て縮尺確認すること。

⑩ 金賞（若しくは銀賞）を受賞した作品は後日、作品図面のＰＤＦデータの提供を依頼する。

⑪ 入賞作品は，画像データの出典先の報告を求めることがある。

2　失格事項

(1) 作品を２部提出していない場合。
※審査時に書き込みを入れるため，必ず必要となる。

(2) 作品の表面に,学校名・学科・学年・氏名を書いた作品。

(3) 作品の裏面右下に，学校名・学科・学年・氏名を書き忘れた作品。

(4) オリジナルで表現せず，インターネット等から写真やイラストを入手したと思われる作品。
※HP 素材サイト等の使用及び作品の一部や全体が他者の著作物を侵害するものである場合。

3　表題欄

(1) 学校名は都道府県から正確に書いてください。

(2) 学科，学年，氏名は略字や省略をせずに正確に書いてください。

(3) 別紙の表題欄を切り取り，必ず作品２部ともに裏面右下に貼ること。
※必要枚数を増し刷りしてご利用ください。

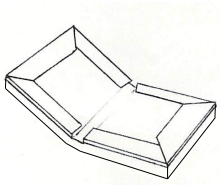
応募作品の発送（郵送）・返送について

主催：東日本建築教育研究会

●作品を発送する準備をする前に

□　作品の送り状は本研究会ＨＰにアクセスし，フォームへの入力が済んでいるか？

●作品を発送する梱包ケース，同封するものについて



□　発送時の梱包ケース「Ａ２判を２つ折りにしたＡ３判のケース（右図参照）」を用意したか？　※枚数が多い場合は，Ａ３判の箱を用意したか？

□　作品は，各課題３点以内か？

□　課題４と課題５を応募する場合は，２枚印刷しているか？（１枚の場合は失格となります。）

□　着払い伝票もしくは，それに代わるものに宛先等を記載し，同封したか？

□　東日本建築教育研究会の会員校以外は，参加登録料３３６円分（８４円切手４枚），を用意したか？

１　作品の返送の「ゆうパックの着払い伝票」などについて

□　伝票（着払い）を準備し，記載漏れが無いか？

□　お届け先を記入したか？

□　ご依頼主を「同上」と記入したか？

□　お届け通知を「不要に〇」を付けたか？

□　配達時間帯に〇を付けたか？
※希望する時間があれば，希望時間帯に〇

□　品名を「図面」と記入したか？

□　着払い伝票を使用しない場合

□　記載漏れが無いか？

□　青色の元払い伝票と切手を用意したか？
※必要な郵送分の切手をちょう付用に貼付，もしくは，A4 用紙に貼付したか？

切手は，必ず貼付してください。

□　その他→指示書（記載指定なし）にどのように返送するのか記入したか？

３　発送（元払い伝票）について

□　お届け先（作品送付先）は記入したか？

〒４００－００２６
山梨県甲府市塩部２－７－１　　ＴＥＬ０５５－２５２－４８９６
山梨県立甲府工業高等学校内 東日本建築教育研究会 製図コンクール係　宛

□　配達希望日および配達希望時間帯は，

□　令和４年１０月２４日（月）～１０月２８日（金）（消印有効）としたか？
※期限を過ぎて到着した作品は失格となります。時間に余裕を持って郵送してください。
また、着払いで送付された作品は、受け取りができませんのでご注意ください。